

～戮力協心～

NO.9
その2

2022年10月19日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

**会社は期末手当は業績給というが、物価高で生活が苦しくなっている!!
組合員の生活を保障するのは会社の使命であり組合は生活給として求める!!**

2022年度年末手当 第1回交渉～収入動向～

中央本部は10月18日に「2022年度年末手当第1回交渉」を行ないました。

収入動向

- ・上半期のコンテナ収入は、コロナ禍による需要低迷、8月の北日本を中心とした大雨に伴う奥羽線不通による影響により、全ての品目で計画（7月期改定時点）を下回り、コンテナ全体では対計画93.3%、対前年では、100.5%となった。
- ・10月期改定における10月17日の営業日報のコンテナ収入では、年間累計輸送実績は対計画98.5%となった。
- ・事業開発部門は2022年度初計画を達成し、10月改定にて7.5億円上積みされた289.1億円をいかにして達成していくかという状況。

組合の主張

- ・コロナ禍と輸送障害に伴う収入が思うようにっていないことは理解したが、高い計画を立てたのは会社であり、組合員への責任転嫁は許されない!
- ・計画未達を理由とした手当削減は断固として許さない!物価高による組合員の生活は苦しくなっている状況のなか仕事を頑張っている!
- ・旅客は列車を切っているが、貨物会社は要員がひっ迫する中のコロナ陽性者が出て組合員の奮闘により、列車を一本も切らさずにやってきた。その労苦に報いるためにも形として表すべきだ!

**会社は計画達成におけたコスト削減として手帳をも配布しないとしています!
手当て抑制を許さず私たちが豊かな生活を送るためにかち取りにいこう!!**